

# 「もっと、世の中に役立つ事業をしたい」 創業の精神はGlicoグループのCSR活動に生きています



## Glicoグループの原点

「おいしさと健康」——それは、「世の中に役立つ事業をしたい」という創業者 江崎 利一の信念がGlicoグループの中で変わることなく生き続け、未来へと受け継いでいく企業理念です。

少年時代から家業を手伝い、父親から薬種業を引き継いだ創業者は、「商売というものは、自分のためにあるとともに、世の中のためにもある」という商売の本質を学び取っていました。この本質から外れることなく、常に、世の中に役立つことを目指して模索し、たどり着いた独自の事業テーマが、栄養菓子グリコの創製でした。

子どもたちをはじめ、多くの人々の栄養状態が不十分であった1922年の創業当時、栄養価の高いグリコーゲンを活用して開発した栄養菓子グリコには、広く国民の健康増進に寄与したいという創業者の強い想いが込められていました。これを反映し、創業の理念には、「食品による国民の体位向上に寄与する」という表現が用いられていました。

その後も創業者は、薬学、栄養学から販売や宣伝、心理学等を独力で学び、創意工夫を重ね、生涯にわたって「いかにして世の中に貢献するか」を追求し続けました。

企業理念は、時代とともに「おいしさと健康」へと表現を変えましたが、その根底を流れる創業者から受け継いできた志は、少しも変わっていません。「食品事業を通じて社会に貢献する」。それがGlicoグループの多様な事業、さらには過去、現在、未来をひとつにつなぐ原点です。

## 企業理念の実現のために

創業者は、「子どもにとって食べることと遊ぶことは、二大天職である」という想いから、栄養菓子グリコとおもちゃを一体として発売することを思いつきました。発育盛りの子どもの栄養源となるグリコにおもちゃを添えることで、子どもの情操を向上させ、カラダだけでなく、ココロの発育にも役立つ商品にしたいという発想でした。

このように、食品事業を通じた貢献をカラダの健康に限定することなく広げていこうとする考え方は、現在の企業理念である「おいしさと健康」の中にもしっかりと息づいています。だからこそ理念には、ハート(おいしさの感動)・ヘルス(健康の喜び)・ライフ(生命の輝き)という広範なフィールドでいきいきとした生活づくりに貢献していくことが、はっきりと明記されています。

この企業理念の追求に欠かせないのが、創業者から受け継いだ創意工夫の精神であるGlicoスピリット、「創る・楽しむ・わくわくさせる」です。さらに、Glicoスピリットを発揮して企業理

念を追求していくために、私たちがとるべき行動のあり方を示したものが行動規範です。

これら、企業理念、Glicoスピリット、行動規範の3つのよりどころもまた、「食品事業を通じて社会に貢献する」というGlicoグループの原点となる考え方によって深く結ばれています。GlicoグループにとってCSRとは、自らの理念の実現になくてはならないものと考えています。

## 経営と一体のGlicoグループのCSR

現在、Glicoグループは、菓子、冷凍、乳製品や加工食品等の領域で事業を展開し、乳幼児の成長やお客様の健康をサポートする商品の拡充や、健康機能を持つ食品素材の研究・開発等にも力を入れています。企業を取り巻く環境が激しく変化し続ける中、常に時代を先読みしながら事業を拡大し、世界中において存在価値を高めていきたいと考えています。

Glicoグループの使命は、どんな時代にも変わることなく、「事業を通じて社会に貢献すること」にあります。変わりゆく時代の要請や期待に応え続けていくことが必要であり、そのための活動がCSRと捉えています。

したがって、経営とCSRは不可分の関係にあり、今後も、力強い経営の推進とCSRの一層の遂行を、一体のものとして追求し続けてまいります。

## CSR活動推進に向けた委員会の設置

CSRはまさに私たちの事業活動そのものであるという観点に立ち、2018年1月、CSR活動を一層推進していくため、活動全体の意思決定機関であるCSR委員会を中心とした推進体制を立ち上げました。

ISO26000、国連グローバル・コンパクトといった国際的な指標を念頭に環境、消費者、公正取引、人財、地域貢献の5つの部会を設け目的・目標を設定し、GlicoグループのCSR活動を推進するため、今後取り組むべき課題に関する議論を行っています。また、各職場にCSR職場推進リーダーを設置し、部会と連携して現場レベルで活動しています。

具体的な取り組みをますます加速させ、「事業を通じて社会に貢献する」会社であり続けることを目指します。



## 持続可能な社会の実現に向けて

CSR委員会を中心とした推進体制立ち上げの背景にも、より良い社会の実現を目指そうという強い想いがあります。CSR活動を推進、深化させていけば、貢献すべき社会は、大きく世界へと広がっていきます。世界には、貧困や差別など未解決の課題が多く存在しており、持続可能な社会を実現するための国際目標であるSDGsの達成に貢献していくためにも、積極的に社会課題の解決に取り組んでいかねばなりません。そのためには、とと一企業の力の及ぶところではありませんが、まずは得意とする分野において、さまざまな人と共にアクションを起こすべきだと考えてきました。Glicoグループでは現在、経営資源の選択と集中による競争力の強化と、持続的成長に向けた経営基盤の強化を基本方針に掲げ、世界において新たな価値を創造するための活動を加速しています。

私たちは、Glicoグループらしい事業による社会課題解決によって現代社会の期待に応えていくために、視野を世界へと広げ、歩み続けます。同時に、ステークホルダーの皆さまに向けて、事業や社会活動を通じて貢献し続けることを、ここにお約束いたします。

今後ともより一層のご支援をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

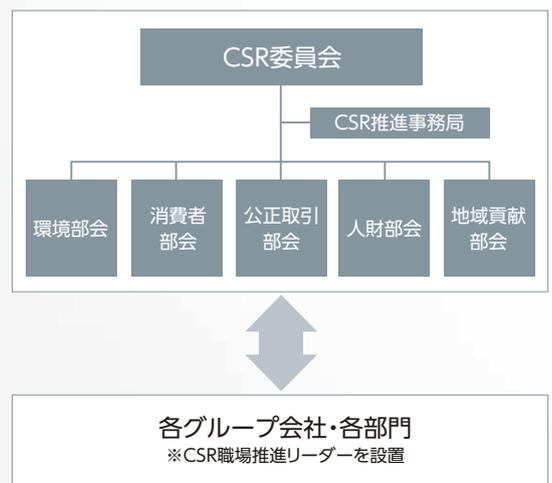
江崎グリコ代表取締役社長 江崎 勝久

### 〈GlicoグループのCSRの考え方〉

Glicoグループは、創業者 江崎 利一が、「食品を通じて国民の体位向上に貢献したい」という信念のもと、グリコーゲン入りの栄養菓子グリコを創製したことに始まります。私たちは、この創業者の想いを受け継ぎ、企業理念「おいしさ与健康」を実現し、世界の人々が豊かで笑顔あふれる人生を歩めるように、ココロとカラダの健康に貢献することを使命として活動して参りました。これからの時代においても、世界でこの使命を果たし続けていくため、変わり行く時代の要請や期待に応え、新たな価値の創造にチャレンジし、社会とともに発展して参ります。



### 〈CSR推進体制〉



# Glicoグループ行動規範

本行動規範は、Glicoグループが事業を通じて社会に貢献し続けるために、即ち、企業理念「おいさと健康」をGlicoスピリット「創る・楽しむ・わくわくさせる」を通じて実現するために、私たちがとるべき行動のありかたを示したものです。本行動規範は、Glicoグループの全ての役員、及び従業員に適用されます。

## 1. 私たちは、世界のお客様の信頼に応える安全安心な商品・サービスと有益な情報を提供し、お客様のココロとカラダの健康に貢献します。

- (1) お客様に対して常に共感し、真摯に向き合い、社会に役立つ商品・サービスを開発し、提供します。
- (2) 世界標準に対応する品質保証の向上に取り組みます。商品の安全性に問題が生じた場合、原因追究・再発防止策を徹底して行います。
- (3) 品質の維持向上のために、計画、実行、チェックの機能が有効に働く体制・運用方法を絶えず追求します。
- (4) お客様のお申し出には、迅速かつ誠意をもって対応します。
- (5) 商品に関して、適正でわかりやすい表現・表示を行います。

## 2. 私たちは、法令・社会規範を遵守し、高い倫理観をもって公正・公平な事業活動を推進します。

- (1) 公務員や政治家はもちろんのこと、ビジネスパートナーとの適切な関係を保ち、あらゆる形態での腐敗を防止します。
- (2) カルテル、談合等の自由な競争を阻害するあらゆる行為に関与せず、市場にて適切な競争を行います。
- (3) 資産の有形・無形を問わず、第三者が保有する正当な財産権を尊重した活動を行います。
- (4) 上記各項目および、人権、労働、環境などに配慮した活動が、バリューチェーンの全てにおいて実践されるよう取り組みます。

## 3. 私たちは、広く社会とのコミュニケーションを図り、信頼関係を構築します。

- (1) 全てのステークホルダーに、透明性、適時性、公平性、継続性を重視した情報開示・コミュニケーションを行います。
- (2) 広報活動を重視し、企業情報を提供したうえで、双方向のコミュニケーションを図ります。
- (3) 個人情報、機密情報は厳格に管理し、保持します。

## 4. 私たちは、環境にやさしい企業活動を推進します。

- (1) 環境汚染や地球温暖化の防止、資源の有効活用を通じて、大切な地球の生物多様性と持続可能性の確保に取り組みます。
- (2) 原材料の調達から生産や供給、最終的に容器包装が廃棄されるまでの過程において、環境負荷の低減に取り組みます。
- (3) 自然の恵みのもとに事業活動を行っていることを理解し、将来世代へこの恵みを引き継ぐため、環境保全への意識向上に取り組みます。

## 5. 私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域の人々と共生し、コミュニティの持続的な発展に貢献します。

- (1) 事業活動を通じて、人々の健康増進への貢献と、経済・文化・福祉の発展に努めます。
- (2) 地域社会との対話により課題やニーズを把握し、地域社会の期待に応えるよう努めます。
- (3) 事業活動で培った知見や技術を活用した教育支援や地域活性化取り組みを通じて、地域社会の課題解決を目指します。

## 6. 私たちは、基本的人権を尊重し、多様な人が活躍できる環境づくりに取り組みます。

- (1) あらゆる形態の強制労働や児童労働を否定し、利用しません。
- (2) 年齢、性別、人種、宗教等による、あらゆる差別をせず、全ての人に等しく機会を提供します。
- (3) 社員が働きがいを感じ、多様な個性や能力を発揮できるよう、労働環境の維持、向上に取り組みます。
- (4) 人財こそがGlicoグループ発展の源泉であると認識し、能力開発と心身の健康増進に取り組みます。